

学生が選ぶ令和5年度前期の興味深かった授業

学科・学年	PT1	氏名	小林 千夏	科目名	生命科学
<p>校長の林要喜知先生が講義して下さる『生命科学』では主に身体の細胞や染色体、遺伝について学びました。私が特に楽しかった内容は遺伝に関する講義です。</p> <p>私は講義を聞く前まで、遺伝性疾患は一つの遺伝子の異常で起こるものだと思っていましたが、遺伝性疾患にも複数の遺伝子が関わる多因子遺伝病など様々な種類があることを知る事ができ面白かったです。また、難しい講義でも具体的な病名を挙げて説明して下さいたため分かりやすかったです。</p> <p>毎授業、質問カードが配布され次の講義時に質問に対する回答をプリントして配布して下さい、講義内容で分からなかったことももっと詳しく知りたいことなどを気軽に質問することができたことも良かったです。</p>					
学科・学年	PT2	氏名	高橋 蓮	科目名	基礎評価法実習
<p>私の印象に残っている授業は基礎評価法実習という授業です。この授業では実際に人の身体を触り、筋や腱、靭帯、血管、神経などがどこにあるかを学びます。最初は筋と靭帯の区別をするのが困難でした。しかし、何回も触っていくうちにそれらが区別できるようになり、筋の種類も判別することができるようになりました。最初は苦手だった実技が楽しく感じるようになり、この授業をきっかけに以前にも増して勉強に取り組むようになりました。</p>					
学科・学年	PT3	氏名	佐藤 由梨亜	科目名	評価臨床実習
<p>実習で印象に残っていることは、患者様やスタッフの方々との関係性がとても大切だということです。患者様とは見学中や評価の中でコミュニケーションを取りながら情報収集に繋げていくこと、スタッフの方々には分からないことや疑問に思ったことなど直接聞きに行くことでその場で解決出来たからです。自分からコミュニケーションを取ることは得意ではないが、実際の現場を見てとても大事だと言うことを知ることができました。</p> <p>また、実習地が地方だったので、実習のことや慣れない環境での生活に不安はあったが、他の学校の学生も数名いて、お互いに気持ちを高め合いながら実習に行くことができたので、実習先に別の学生が居たことはとても心強かったです。また、スタッフの方々に優しく丁寧に教えて頂いたので、疑問点などをその日のうちに解決することが出来ていました。</p> <p>患者様には「頑張っね」など声をかけてもらえたりしたことがとても嬉しかったです。</p>					
学科・学年	PT4	氏名	藤本 現大	科目名	総合臨床実習Ⅱ
<p>前期の授業で印象に残っていることは、総合臨床実習Ⅱです。学生生活最後の病院実習ということもあり、より臨床特化の実習を行いました。遠方での実習であったため、普段なじみのない土地や環境での生活でしたが、1から人間関係を構築することの面白さや大変さを身に染みて感じる事ができたため良い経験になったと感じました。後期からは、卒業研究や国家試験対策に力を入れていきたいと思っています。</p>					

学生が選ぶ令和5年度前期の興味深かった授業

学科・学年	OT1	氏名	高橋 凜花	科目名	リハビリテーション概論・運動学
<p>私が興味深いと感じた授業はリハビリテーション概論と運動学です。リハビリテーション概論では、リハビリテーションに関する制度や介護予防について、チーム医療における多職種の役割などを学びました。特に介護予防に関する講義では、認知症予防の基本や作業療法士としてどのように関われば良いかを理解することができ、今後の学習に役立てていきたいと感じました。運動学では、骨格筋の構造と機能や疾患、筋の起始停止などを学習しました。実際にペアになって触診する場面では普段講義を聞いているだけでは分からない部分もイメージしやすく、骨の位置を正確に捉えることができました。様々な骨や筋の働きを学ぶことができ、興味深いと感じました。</p>					
学科・学年	OT2	氏名	渡村 実	科目名	見学実習
<p>私の今年度の興味深かった授業は見学実習です。今回、私は急性期病院で1週間見学実習させて頂きました。1週間という短い期間ではありましたが、学校で学んだ疾患を実際に見学した事で、疾患と作業療法との結び付きについて、より理解を深めることが出来ました。実習の中では本当に多くのことを学ばせて頂きましたが、その中でも特に印象的だったのは、関わっている先生によって異なったリハビリの提供をしていたことです。作業療法として行っていることは同じでも、声の掛け方や距離感や会話など常に対象者のことを考え、性格に応じたリハビリを提供しており、改めて自分の目指す職業は難しいものであると感じました。それと同時に、短期間の訓練の中で対象者との信頼関係を築いていた指導者の先生の姿は、私の目指す作業療法士像の1つとなりました。</p> <p>そして今回の見学実習で、自身の知識や技術の未熟さを見直すことが出来たと思います。今回の実習で得た知識や技術を活かし、今後の実習に向け学習に励んでいきたいと思います。</p>					
学科・学年	OT3	氏名	中坪 李香	科目名	地域作業療法学Ⅰ・精神障害実習Ⅱ
<p>私が選ぶ今年度の興味深かった授業は、地域作業療法学Ⅰと精神障害実習Ⅱです。なぜこの2科目が興味深かったかという、どちらの授業でもPBLが実施されたからです。これらの授業で実施されたPBLはグループに分かれてそれぞれの症例とそれに対する問いへの回答を考え出し、グループ内にて考えをまとめ、発表・質問する活動であり、この活動を通して自身の考えを整理し考えることはもちろん、考えたことをグループ内に発信したり、メンバーの考えを聞いたり、わからない箇所について話し合ったり調べたりすることで、さまざまな角度からの症例の見方を知る機会に繋がりました。とても有意義な時間を過ごすことができたため、興味深かったと感じました。</p>					
学科・学年	OT4	氏名	梅田 大智	科目名	救急救命学
<p>私が今年度印象に残った授業は、新しいカリキュラムの一環として開講した救急救命学です。緊急時の対応やAEDの使い方など、日常生活からリハビリ場面に至るまでを想定した救命の知識を学ぶことが出来、臨床にとっても役立たせられるなと感じました。これまで、リスク管理の授業というのは何度か受けさせて頂いたのですが、実際危険な状態になった時どうするかというのはよくわからなかったため、この疑問を演習も交えて解説して頂いたのは非常に有意義でした。他、留置針やカテーテルなど入院患者様によく見られる器具についても使い方や禁忌事項の説明が有り、臨床の様々な場面を想定した実践的な授業が展開されているなと感じました。</p>					

学生が選ぶ令和5年度前期の興味深かった授業

学科・学年	NS1	氏名	北所 莉乃	科目名	解剖生理学
<p>4月に入学して半年が経ちました。わずか半年余りですが、これまでたくさんの講義がありました。その中でも解剖生理学の講義が印象的でした。解剖生理学では各臓器のしくみと機能を学びました。複雑でむずかしいのですが、スライドを使って細部までわかりやすい講義でした。また毎回小テストがあり、それは復習にもなり、テスト対策にもなりました。解剖生理は、看護を実践する上で必要になりますので、知識を定着していくようにしていこうと思っています。</p>					
学科・学年	NS2	氏名	吉田 駿輝	科目名	地域・在宅看護方法論
<p>私は資格取得後、訪問看護に携わりたいと考えている。そのため、地域・在宅論の授業は、興味深いと感じている。</p> <p>授業の中では、訪問看護を受ける方の退院後の流れや、在宅生活を支える保健制度などについて学び、高齢化が進む中、地域・在宅看護の需要が高まっていることを知った。このことから、より一層、訪問看護に携わりたい思いが強まった。</p> <p>今後は、地域・在宅で暮らす患者や利用者の実際の生活を、実習を通して学習し、地域・在宅看護の理解を深めていきたい。</p>					
学科・学年	NS3	氏名	菊田 珠里	科目名	臨床看護の実践
<p>3年生は実習が中心となるため講義形式の授業が少ないのですが、その中でも矢野先生が担当される『臨床看護の実践』はとても興味関心の深い授業になっています。内容としては複数の患者さんの優先順位を考え看護を実践するというものです。しかし計画した通りに実践できるわけではなく、援助の途中で転倒の危険がある別の患者さんが歩き出してしまうなど、その場で計画を変更せざるを得ない状況となります。その状況の中で優先順位を考え、安全に看護を実践するという事は、来年就職を控える3年生にとっては程よい緊張感と充実した学びになっています。</p>					